

さいたま市障害者社会参加推進センターだより



ぷらネット

第48号

「障害者週間」

市民のつどい

～みんなちがってみんないい～

令和7年12月6日（土）
10：00～15：00

会場：プラザノース
市民広場
きたまちしましま公園



基調講演

高嶋弘之氏

「笑う老人生活」



清水市長



ふれあいステージ：NPO法人織の音アート・福祉協会



さいたま市 PR キャラクター

令和七年度「市民のつどい」を開催しました

令和七年度の障害者週間「市民のつどい」を今年もプラザノースにて十二月六日に開催しました。

この時期は、気温が下がり会場参加や企画を担当する方の体調が心配になります。当日は時折、日差しが有り屋外の企画に多くの参加者があり賑わいました。

プラザノースのホールでは高嶋弘之氏の基調講演を行いました。

朝早くから入場整理券を求める方で長い列が出来る程の盛況でした。午後の開催時間近くになっても入場券を求める問合せが有りお断りする程でした。

講師の話にピアノの伴奏が花を添えることで聞きやすい講演でした、との感想を頂きました。

区役所前のふれあいステージでは消防音楽隊の奏でる演奏が「市民のつどい」の幕開けを告げていただきました。

その後の式典では清水市長よりスポーツ大会の表彰状を手渡しいただき各選手の健闘を讃えていただきました。

午後からは、障害当事者と支援者を含む参加者で日頃の活動を披露して盛大な拍手を頂いていました。

ステージの上では満足した表情が見えました。会場では出演時間を確認している方がいて、ステージへ応援を頂けることに感謝の気持ちが湧きました。

テント販売にも三々五々と人波が有り、時折、ヌウ(さいたま市マスコットキャラクター)が登場して写真撮影会になり、家族連れや周りに笑顔を作ってくれました。

しましま公園にはキッチンカー事業所のコーヒーなどの販売テントが並び、休憩所で過しながら販売品を選ぶ姿が見えました。

二階多目的室の障害者スポーツ体験コーナーには、笑い声が響く時間が有りました。

ギャラリー内の福祉団体の活動紹介のブースには、午後から放課後デイサービスの団体が来場していました。

障害当事者以外にも家族の方が情報を求めている姿も見られました。クリスマスカード作りの三階まで多くの方にお越しいただき会場が賑わいました。

プラザノースでの「市民のつどい」開催が定着して来ていると感じられました。

今年は、市内自治会でポスターの掲示が見られ、多くの方に障害者週間「市民のつどい」の開催が周知されたので、基調講演への関心が高まったのではないかと感じました。

午後まで参加者があり企画を見て回る姿に市内の多くの方に「みんなちがってみんないい」の思いが伝わることを見ても期待したいと思いました。

「市民のつどい」が盛況に開催出来たことは参加頂いたボランティアの多くの方が笑顔で企画やチラシ配布に参加頂き、さいたま市職員の方々には休日にもかかわらず動いていただいたことに感謝いたします。

多くの方の力で障害者週間の思いを繋ぐことが出来ました。皆さんありがとうございました。

今後も福祉の活動に皆さんの力を貸していただける様にお願ひします。

次年度もこの場所で開催いたします。今後よろしくお願ひいたします。

さいたま市手をつなぐ育成会

黒澤 篤子



障害者週間とは…？

毎年12月3日から12月9日までの期間は障害者週間です。

障害者週間は、障害者基本法によって定められています。国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進することを目的としています。

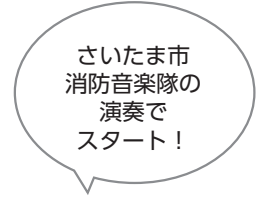


さいたま市手をつなぐ育成会：クリスマスカード作り

オープニング



ノーマライゼーション
PRキャラクター ライチちゃん



ノーマライゼーション
PRキャラクター ノーマくん

式典



中野実行委員長



心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター表彰式



清水市長



稲葉団長



全国障害者スポーツ大会 さいたま市選手団結果報告式・解団式



市民広場にノーマライゼーション啓発のゲートが設置されました

さいたま市では、二〇一一年全国の政令指定都市に先駆けて「さいたま市誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例」を制定しました。

この条例は障害がある人もない人も、安心して生活できる地域社会を目指すもので、障害のある人が地域の一員として様々な活動ができるまちづくりを目指しています。

ノーマライゼーション条例

【屋外イベント】

手話応援に関する展示 (RB大宮アルディージャ)
 ブラインドフットボール体験・モルック体験
 アーチェリー体験 キッズコーナー
 障害者団体・事業所販売コーナー
 &キッチンカー
 ノーマライゼーションコーナー (さいたま市)

屋外イベント



モルック体験



アーチェリー体験



ノーマライゼーションコーナー



手話応援に関する展示



キッズコーナー



ブラインドフットボール体験

マライゼーションのまち



障害者団体・事業所販売コーナー



みんなの笑顔あふれる販売コーナー



【多目的ルーム】

プラザノース2階

- 全国障害者スポーツ大会写真展
- 卓球バレー体験 (埼玉県卓球バレー協会)
- ポッチャ体験 (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)
- カーレット体験 (インクルラボ)

【交流スタジオ】

- 手話教室・要約筆記体験コーナー (さいたま市聴覚障害者協会)
- 映像放映 (さいたま市)
- さいたま障害福祉ちゃんねる
- トークセッションwith北図書館



屋内イベント



【ギャラリー】

団体活動紹介の展示・体験

- さいたま市身体障害者福祉協会
- さいたま市手をつなぐ育成会
- さいたま市肢体不自由児・者父母の会
- 埼玉県自閉症協会さいたま市地区
- さいたま市精神障害当事者会ウィーズ
- その他障害者団体

点字・ゲーム・無料マッサージ体験

生け花展示 さいたま市視覚障害者福祉協会

障害・難病者制作 作品展

- ・絵画、写真、書、工芸、手芸などの作品展

ヘルプマークの普及等

- ・ヘルプマーク缶バッジ配付 一般社団法人インクルラボ

高次脳機能障害 ピアサポート活動等

高次脳機能障害さいたま これからの道

精神障害・展示相談コーナー等

さいたま市精神障害者家族会連絡会

スマホ体験会 ICTサークル浦和

けやきパソコンボランティアクラブ

消費生活

さいたま市消費生活総合センター

- ・消費生活に関する情報の提供と啓発品の配布

消防・防災

さいたま市防災アドバイザー/北消防署

- ・防災に関する情報提供
- ・防災用品展示・防災関連ゲーム
- ・災害時障害者支援用バンダナ配付



団体活動の展示



みんなで創るノ



ヘルプマーク普及コーナー



団体活動の展示



防災用品展示・防災関連ゲーム



力作ぞろいの作品展



基調講演

「笑う老人生活」

高嶋 弘之氏



「笑う老人生活」を聴いて

去る令和七年十二月六日(土)プラザノース周辺で「障害者週間」市民のつどい〜みんなちがってみんない〜が開催されました。その中の基調講演で高嶋弘之氏による「笑う老人生活」と題してご講演がありました。兄は俳優の(故)高島忠夫さん、次女はヴァイオリニスト・高島ちさ子さん、そして長女が未知子さんでダウン症だそうです。未知子さんが産まれ、お医者さんにダウン症と言われた時は奥さんも一晩で髪が真っ白になってしまった程のショックだったそうです。会はピアノの演奏も交えつつ厳かに行われました。私はず、心に残ったのは高嶋氏の「未知子は障害者で弱者である。だが、大人になったら自分で生きていかなく



高嶋 弘之氏

てはならない」だから、厳しくした。という趣旨のお話でした。厳しいけれども父親としての優しさも感じられました。色々悩みや葛藤もあったことと思います。未知子さんの学校でのエピソードも語られました。実際、いじめられたこともあったようです。未知子さんがいじめられると他の兄弟が怒ったという話もあったようです。でも、弘之さんの人柄で未知子さんも他のご兄弟もたくましく育たれたのでしょう。私は自分の父を思い出しました。私の父はすでに他界していますが、また厳しい人でした。私が大学生の頃も色々ありました。厳しいけれど優しくかったです。そんな父も私を一人前にするために、厳しかったのだろうか?と思ったりした。お母さんも優しくかったです。次に記憶に残ったのは、高嶋氏の世界色々な所を巡ったお話でした。私も将来の夢は旅人なので、もしかしたら、こちらの方が記憶に残ったかもしれません。すみません。ちなみに高嶋氏は英語よりフランス語の方がむしろ得意だとおっしゃっていました。英語はそんなにできないけど、中学英語で高嶋氏持ち前のユーモアで乗り切って来たようです。

そのおかげで今の職につけたというようなお話もありました。またどこか行かれる話もありました。高嶋氏は実に渡世術に長けた方だなあと感じました。ユーモアがあつて面白い。お兄さんのお話もありました。人生はあみだくじと同じでどこかで横棒が一本入っただけでどこにたどり着くか分からない、というお話でした。ふと新聞を見たら本当にたまたま芸能のことが目に入ってお兄さんに話したそうです。弘之氏がいなかったら、もしかしたら兄の忠夫さんも俳優にはなつてなかったかもしれない。人生は分からないものだなあと感じました。

弘之氏も九十一歳を超えているそうですが、まだまだ、若い。私ももう五十一歳になりました。織田信長さんの時代だったら人生五十年でした。今は人生百年時代。健康寿命という言葉もありますが私も折り返し地点を過ぎました。私自身も障害がありますが、人生まだまだ、楽しく生きていきたいいなと思っていました。

さいたま市

精神障害当事者会ウィーズ

稲葉 晃

ふれあいステージ

- ①笑舞CHEER & DANCE STUDIO
- ②NPO 法人みんなの風福社会 風の子クラブ
- ③一般社団法人インクルラボ
- ④NPO 法人織の音アート・福祉協会
- ⑤社会福祉法人さくら草 デイセンターさくら草
- ⑥久美愛園 久美学園
- ⑦ダンスフォーラム BFクラス
- ⑧社会福祉法人ハッピーネット ゆめの園みらいず大宮
- ⑨一般社団法人 とまりぎ BOOK
- ⑩特定非営利活動法人 ゆうの樹
- ⑪さいたま市立植竹小学校金管バンドクローバース



社会福祉法人さくら草 デイセンターさくら草



ダンスフォーラム BFクラス



笑舞CHEER&DANCE STUDIO



久美愛園 久美学園



一般社団法人とまりぎ BOOK

みんなの心を一つに… 力いっぱいダンス・演奏が披露されました



特定非営利活動法人 ゆうの樹



一般社団法人インクルラボ



NPO法人みんなの風福社会 風の子クラブ



さいたま市立植竹小学校金管バンド クローバース

令和七年度 市民のつどい実行委員会リレートーク 大切にしたい市民のつどい

ボランティアさんとともに

晴天に恵まれた令和七年度の市民のつどいは、入出が多く活気に溢れ、過去最高の来場者で賑わいました。このイベントには、沢山のボランティアさんが集まってくれます。私は今年ボランティアさんへの事前説明会に参加する機会がありました。障害政策課からは、イベントの概要とともに、ノーマライゼーションについての講座がありました。障害者協議会からは、知的障害・身体障害・視覚障害の実行委員が参加し、障害の特性や日頃感じていることを話す時間をいただきました。専門学校の学生さんが真剣な眼差しで真摯に耳を傾けてくれる様子が、とても有り難かったです。

当日は障害当事者の皆様と支援者による「ふれあいステージ」の進行を担当しました。こちらも過去最高の十一組の参加で盛り上がりしました。

式典が行われたレッドカーペット



市内専門学校でのボランティア説明会

トのステージで、日頃の練習の成果を表現する晴れやかな姿に胸が一杯になりました。色鮮やかな織物で毎年参加してくれる施設の皆さん、竹太鼓を叩く子どもたちを見守る温かい笑顔の職員さん、出番が待ちきれず音楽に合わせて踊りだす男の子・・・あつという間の三時間でした。ふれあいステージを担ってくれたボランティアさんは大学三年生の二人。底冷えする中、写真撮影や手拍子を続けた応援団。本当に感謝です。

障害がある人もない人も、会場全体で共に創り上げていく市民のつどいは、ノーマライゼーション条例の理念が広がる一日です。



令和7年度 市民のつどい実行委員

「普段は理系の勉強をしているので、違う分野を知りたくて応募しました」というボランティアさんの言葉が心に残ります。違いを認め合い、誰もが尊重され共に生きていく、ノーマライゼーションのまちを目指して、市民のつどいの意義は多様でとても大きいと実感しました。会場に集ってくださった皆様、本当にありがとうございました。

さいたま市
肢体不自由児・者父母の会
泉 千恵子

編集後記

冬の寒い日が続いていますが、時おり、お日様の陽射しが心地よく暖かく感じて桜の咲く春が待ち遠しいです。

通勤している電車でもたまに、補聴器を付けた小学生で名札の名字が同じなのに、兄妹と思われるふたりが座っていて、いつも居眠りをしてる妹さんを降りるときゆすつて起こす場面を見かけます。手話で話をしてる場面を一度見かけたことがあり、ふたりとも大笑いしていたので、「何年生？」思わず声をかけたくなってしまうのですが、手話がわからないので、できませんでした。

協議会として、一年間のさまざまな事業についてお伝えさせていただいておりますが、各団体の活動されている皆様は何事にも一生懸命に取り組んでいることを、ひしひしと感じる日々です。(Y)

訂正とお詫び

ぶらネット四十七号において間違った表記がございました。訂正させていただきますとともに、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

三ページ(誤) 藤崎明美子 ↓ (正) 藤崎明美
六ページ(誤) 越後和子 ↓ (正) 越知和子
(誤) 越智 毅 ↓ (正) 越知 毅

発行 さいたま市障害者

社会参加推進センター

〒330-0801

さいたま市大宮区土手町

一・二二二一

大宮ふれあい福祉センター4F

TEL 〇四八・六五三・七二七一

FAX 〇四八・六五三・七三三一

https://www.saitama-planet.com/

e-mail saitanacity-handynet@

bz03.plala.or.jp

発行・編集人 中野 勇